

令和7年度（第61回）吉水講大阪教区本部詠唱奉納大会

5月にもかかわらず各地で最高気温が続出しそうとの予報どおり、大変暑い日となった21日、令和7年度第61回吉水講大阪教区詠唱奉納大会が、今年は会場をドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）に変えて開催されました。

午後0時30分に始まった第一部法要では、従来どおり入堂和讃に始まり、物故者の回向をしました。第二部の式典では来賓の紹介と出席回数に応じた表彰が行われ、ちなみに今回の最多表彰は30回の方でした。第三部の総会では、小林理事長から令和6年度の事業と会計の報告があり、第四部、各支部の奉納が始まりました。奉納された曲目は、今年は昨年より3曲増え21曲で、広い舞台と毎度緞帳の上げ下げもありましたが、進行もスムーズに行なわれたことから、昨年同様、午後3時には、プログラム最後の参加者全員による「弥陀本願の御詠歌」を終え、お開きとなり、参加者は今年一番の暑い日、一番暑い時間に帰途につかれました。



一昨年は大阪国際交流センター、昨年は一心寺様三千仏堂と会場を変えていますが、参加者もまた減少してしまいました。何よりも若い方が余りおいでにならないのは残念です。

来年は、大阪教区が近畿地区の詠唱大会当番となっております。時を超えてお念仏が称え続けられてきたように、ご詠歌も世代交代によって時代を超え、唱え続けらることを願ってやみません。

参加者の支部、講員の皆さまお疲れさまでした。

（河北組 正覚寺 井上善弘）

